



レディースライクの可能性 ～ブランド設立～

Gerden

理念

誰もが暮らしやすい社会へ
—個性を活かし、当たり前を覆す—
※マジョリティにとっての当たり前



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

5 ジェンダー平等を
実現しよう



チームロゴ説明

*Gをスライムに見立てる

*リロードマークに見立てる

*LGBTの象徴である虹を取り入れる

*止まっていた時を動かしたい

*自由自在に自分らしくいてほしい



0.理想 誰もが自分の好きなファッションを気兼ねなく着ることができる社会

5.最終到達目標

レディースライクブランドの設立・普及

4.今後の計画

クラウドファンディング実施や企業との連携
理想とする服の製作

3.考察

2-①・2-②・2-③の結果から

2.これまでの取り組み

- ①「ファッションショー」問題認識
- ②「アンケート実施」現状分析
- ③「SNSでの発信」啓蒙

1.問題意識

- ・男性らしさ・女性らしさという偏見がある。
- ・一部の人は自由なファッションを享受できていない。



0.理想



理想

誰もが自分の好きなファッションを
気兼ねなく着ることができる社会





1.問題意識



1.問題意識

男性らしい・女性らしいという偏見があるために以下の2つの課題がある。

- 1.性別関係なく自由な服装を身に着けられない方、主に女性が好む服装を身に着きたい男性がいることを認識されていない。
- 2.例えば男性は肩幅があるのに女性用の服を着ることは難しいというように、肩幅など体型に見合ったデザインの服を提供するブランドが無く、思うようなファッションの選択ができない。

結果.これらの方々は自由なファッションを享受できていない。



2.これまでの取り組み ①問題認識のために ファッションショーの開催



2023年10月22日

SDGs YOUNG Action EXPO

<目的>

ファッションショーなどでより多くの人にジェンダー問題(男性らしいファッション・女性らしいファッションという偏見)について認識してもらう



<実施内容>

- ・ステージ:ファッションショー
- ・ブース:Gerden紹介
アンケート調査

2023年10月22日 SDGs YOUTH Action EXPO



2023年11月23日

EXPO文化祭

<目的>

ファッションショーなどでより多くの人にジェンダー問題(男性らしいファッション・女性らしいファッションという偏見)についての認識の促進・現状把握



<実施内容>

ステージ:ファッションショー

・ブース:Gerden紹介

アンケート調査

思い描くファッションの絵描き

服の写真を組み合わせる着せ替え

2023年11月23日 EXPO文化祭



レディースライク

メンズ・レディースに加え、メンズライク*というジャンルが
広く知られている

(※メンズの服を女性でも着こなせるようにコーディネートしたファッション)

しかし、、、

レディースライク*というジャンルは浸透していない

(※レディースの服を男性でも着こなせるようにコーディネートしたファッション)



メンズライクが普及しているなら**レディースライク**の普及も
必要なのではないか

* Fashion genre *



LADIES



LADIES LIKE



MEN'S LIKE



MEN'S



2.これまでの取り組み ②現状分析のために アンケート調査の実施



＊アンケート調査内容＊

第1回 令和4年7月11日～

回答者数:65名

実施方法:インターネット調査

実施内容:「フリル」「レース」「水玉柄」「花柄」「ショート丈(上下)」の各項目について関心度・着てみたいか・着たことがあるか・その理由を調査

第2回 令和4年10月22日

回答者数:34名

実施方法:対面実施

実施内容:「かわいい服」「かっこいい服」「フリル」「レース」「水玉柄」「花柄」「ショート丈(上下)」の各項目について着てみたいか・男性女性という思い込みをなくせるだろうか・自由な服装をするべきか

第3回 令和4年11月23日

回答者数:61名

実施方法:対面実施

実施内容:「かわいい服」「かっこいい服」「一般的に女性がこの飲むような服」「一般的に男性が好むような服」「フリル」「レース」「水玉柄」「花柄」「ショート丈(上下)」の各項目について着てみたいか・男性女性という思い込みをなくせるだろうか・その理由

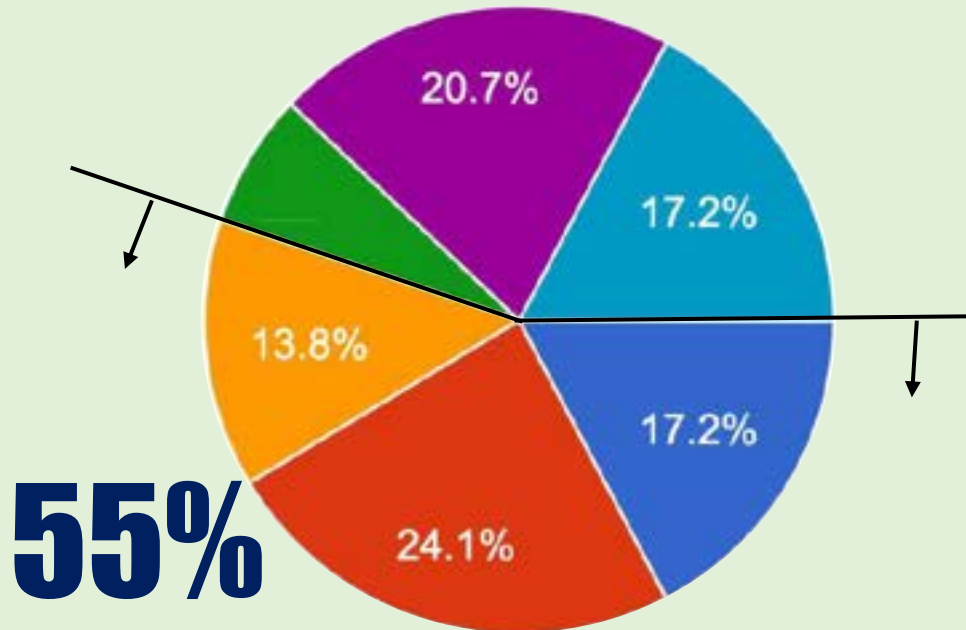
アンケート調査結果(抜粋)

「興味のあるファッションについてのアンケート」

*10代~20代の男女2023.7.11.start (65名回答) *

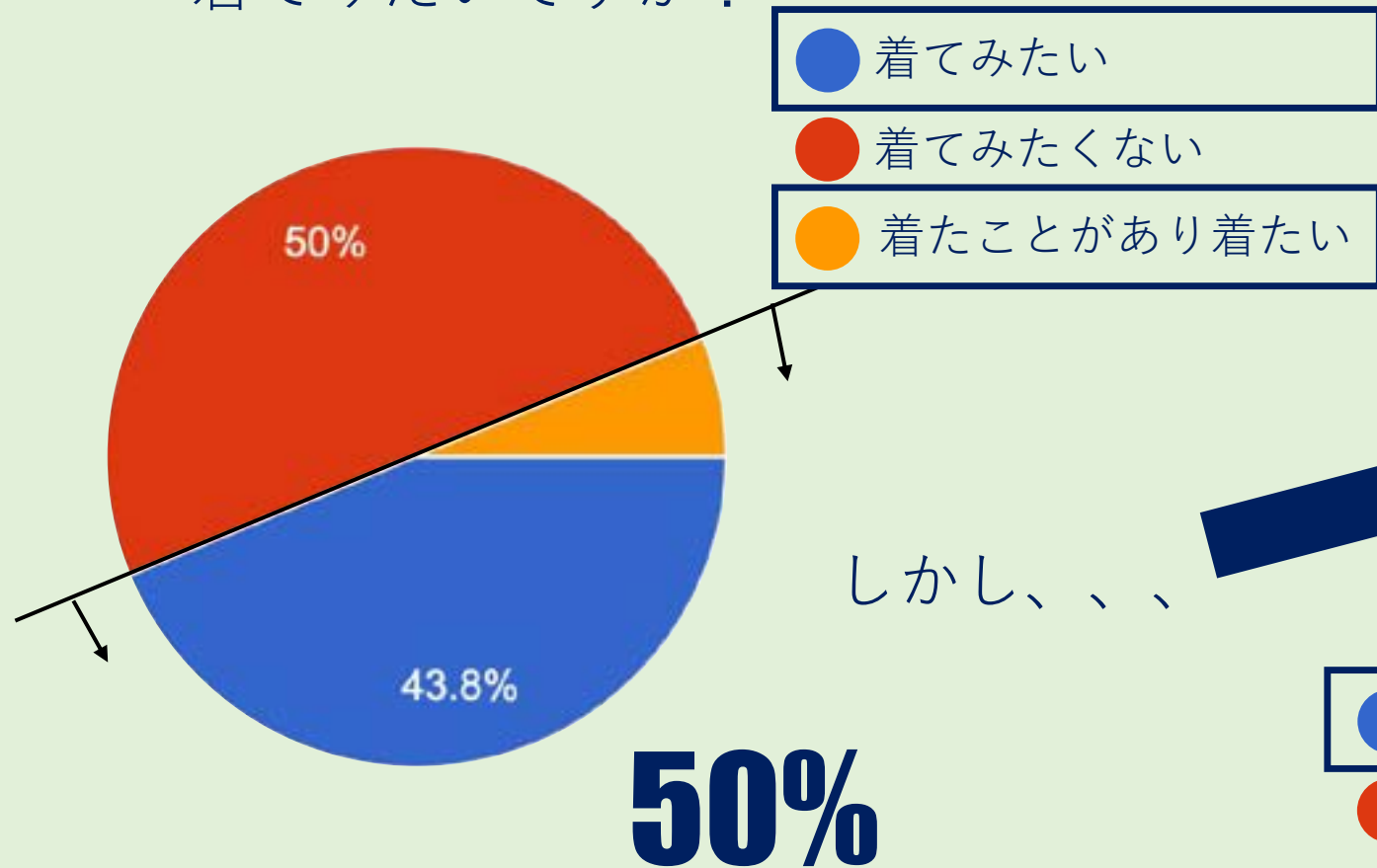
男性への質問

Q.フリル、レース、水玉柄、花柄、ショート丈(上下)の関心度

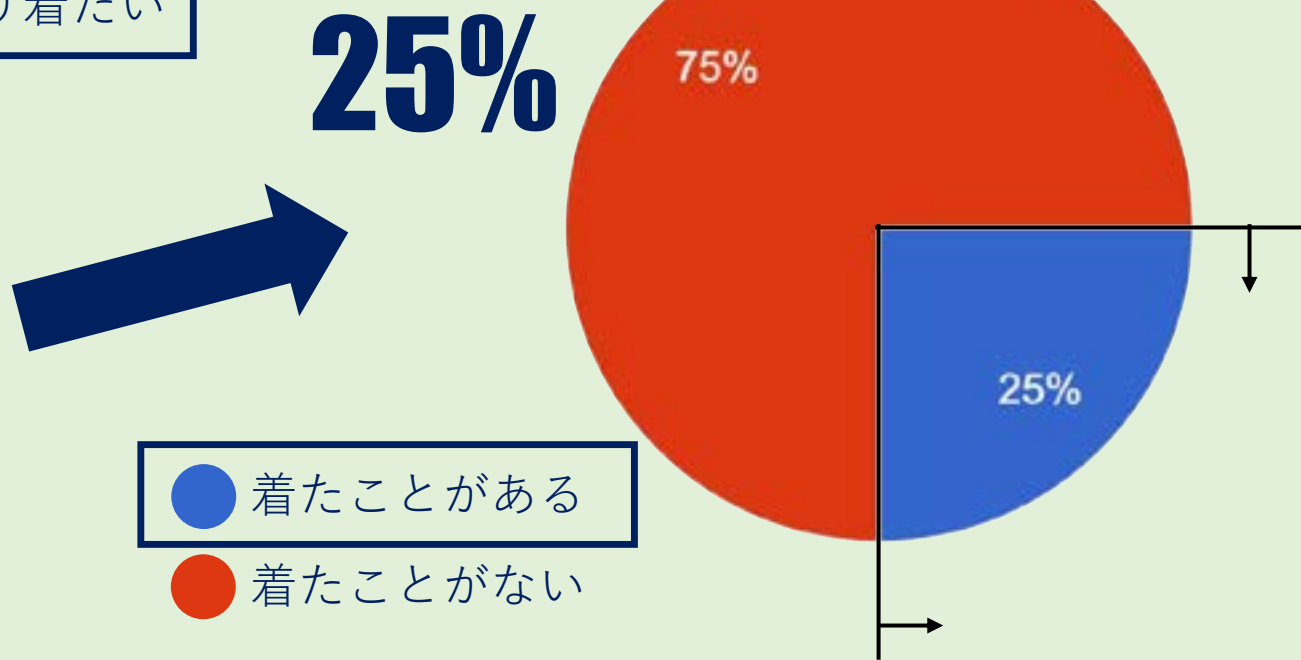


- とても感心がある
- 少し感心がある
- どちらかという后感心がある
- どちらかという后感心はない
- あまり感心はない
- 全く感心はない

Q.このような柄のファッションを
着てみたいですか？



Q.このような柄のファッションを
着たことがありますか？



しかし、、、

＊理由＊

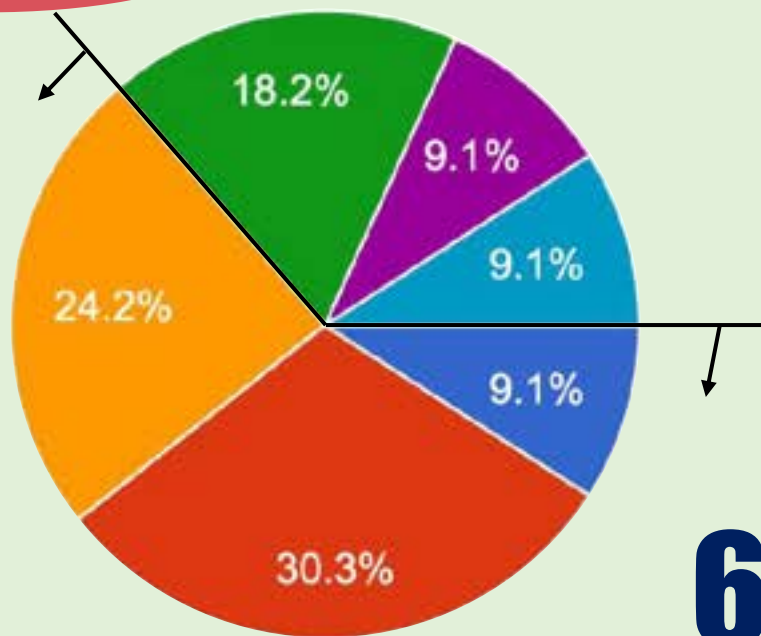
「似合わない」

「男性だから」

「恥ずかしい」

Q.男性が先ほどの服装を着ることに対して違和感があるかどうか

女性への質問



65%

- とても違和感がある
- 少し違和感がある
- どちらかという違和感がある
- どちらかという違和感はない
- あまり違和感はない
- 全く違和感はない

＊理由＊

「着ているイメージがないから」

「見慣れていないから」

＊アンケート結果からわかること＊

- ・年代によって差はあるが、男性で女性の好む服装を着たい人が存在する
- ・男性が、女性の好む服装をすることに違和感を感じる人が多い
- ・男性・女性共、柄の種類によって着たいか着たくないかの差が出る
- ・多くの男性・女性共に、自由なファッションを着られたら良いと考えている
- ・多くの男性・女性共に、ファッションに対する偏見や思い込みをなくせると良いと考えている



2.これまでの取り組み

③啓蒙するために SNSでの発信



Instagram



SNS

活動報告やアンケート分析結果など、Instagramにて発信

女性の好む服装を着たい男性、トランスジェンダーの方々と交流を広めていくツールとして活用

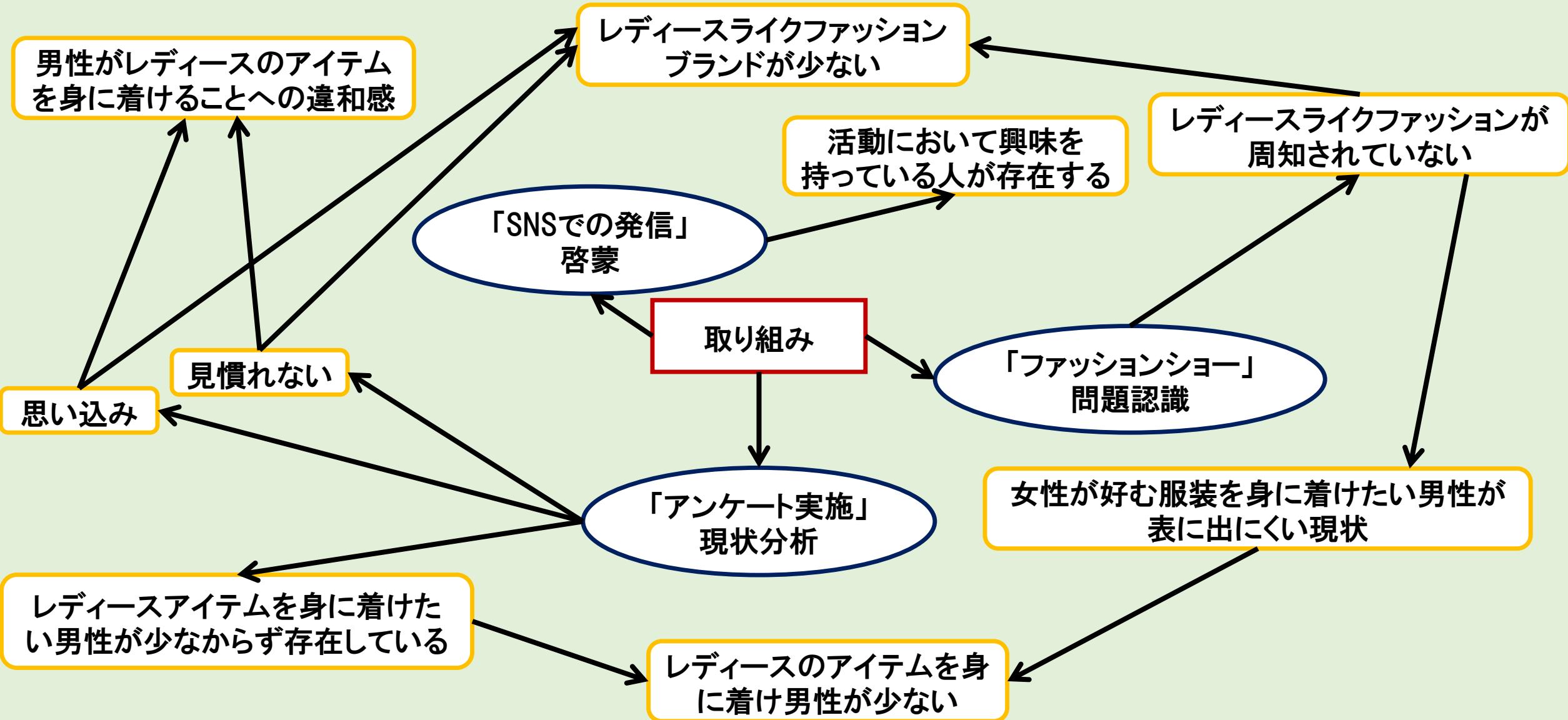




5.最終目標



3. 取り組みの考察





4. 今後の目標



4. 今後の計画

「レディースライクブランドの設立・普及」のために

これまでの取り組み
の継続

女性が好む服装を
身に着きたい男性
やトランスジェン
ダーの理想調査

アイテム製作するた
めにクラウドファン
ディング等を実施

企業と連携し、理想
をデザイン化

ファッションア
イテム製作



5.最終目標



5.最終目標

レディースライクブランド

の

設立・普及

最後に SDGsの三側面



経済面

レディースライクというファッションブランドを立ち上げる。

ファッションの需要を喚起し、新規の顧客獲得(自由な服装を身に着けられない方や女性が好む服装を楽しみたい方)にも繋がる。

結果として、アパレル業界に新しい市場(マーケット)が創出することに発展する。

社会面

ファッションにおける男性らしさ・女性らしさという偏見や思い込みがある。

特に女性が好む服装を身に着けている男性が好奇心な眼差しから、自由なファッションをできていない。

自分らしく輝ける空間=社会づくりが可能になり、個性を活かしながらも誰もが暮らしやすい社会へ導ける。

レディースライクというジャンルを広め、常識化し、“今までの当たり前”を覆えていく。

環境面

立ち上げるブランドの製品の一部は、衣料のリサイクル、元々ある服に加工を加えるリフォームを予定している。

使わなくなった服の提供や服を製作する上で必要な物資を提供してもらう企業や団体と連携。

使わなくなった服を再利用し服を製作するなど、新たに付加価値をもたらす再生産を行い衣料廃棄物を減少することができる。

firm

